

平成26年度事業計画書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久邑の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

平成26年度も本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行う。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

- (1) 釀菜事業
- (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
- (3) スクール(寿)コンサート事業
- (4) 中国の旅事業

- 2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業
 - (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
 - (2) 生活体験学習（通学合宿）事業
 - (3) 中学校生徒会交流事業
- 3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業
 - (1) 多久聖廟の維持管理事業
 - (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業
 - (3) 東原庫舎の研修目的での利用に対する貸与事業
- 4 図書製作販売事業
- 5 新年のつどい開催事業
- 6 各種教室・講座開催事業
- 7 法人運営・管理事業

【事業内容】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

(1) 釀菜事業

釀菜は、多久聖廟創建(1708年)以来、三百有余年の歴史があり、春(4月18日)、秋(10月第4日曜日)の年二回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

このように、佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代へと的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

また本年度は、国の文化芸術振興費補助金(現在申請中)を活用して
釀菜等を引き継ぐ次世代の人材育成及び儀式の正当な作法を伝承する
為の映像と多久聖廟の釀菜を広く普及する為の映像を作成し、後世へ
の伝統芸能の伝承・普及を行う。

① 実施時期：春(4月18日)、秋(10月第4日曜日、今年度は10月26日)
の年二回開催

② 事業の対象者：一般住民

③ 周知方法：市報、チラシ、ホームページ・フェイスブック等で広報
予定。

④ 多久市文化遺産活用地域活性化事業

- ・ 「多久聖廟」の紹介・「釀菜」の紹介・「奉納芸能」の紹介など普及用映像作成
- ・ 「釀菜」式典及び「奉納芸能」の記録映像の作成
- ・ 「釀菜の舞」の衣裳、「腰鼓」衣装及び楽器の購入

(2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした
文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

① 募集(周知)方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、
市報、新聞、ホームページ、ガイド誌、フェイスブック等を活用し
て募集する。(締切8月上旬)

② 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の

方々に審査していただく。

審査員：石川忠久氏（学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会理事長、専門は古典中国文学）、岡村繁氏（九州・久留米大学名誉教授、専門は中国文学）

③ 表彰方法

11月29日（土）に予定している全国ふるさと漢詩コンテスト表彰式会場において行う。

最優秀賞：1点、優秀賞：2点、入選：3点、奨励賞1点

- 各受賞者には、賞状及び記念品（陶板）を授与する。
- 最優秀賞の作品は、石柱に漢詩を書いた陶板を埋め込み、東原庠舎周辺に設置する。

（3）スクール（寿）コンサート事業

多久市在住の趙勇（揚琴演奏家）氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子ども達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与する。

①開催場所等

i スクールコンサート：市内小中学校3校（参加者：全校生徒、教師、保護者）

ii 寿コンサート：市内各町公民館等（参加者：老人会会員）

（4）中国の旅事業

多久聖廟は孔子を祀っており、孔子直系子孫の方々や孔子の生誕地である中国山東省曲阜市と友好都市交流を深めている。平成26年度の中国の旅事業では、北京におられる孔子77代末裔孔德懋先生や孔子基金会表敬訪問を予定している。

また、現在の文化の中心地北京とかつての文化の中心地であった洛陽を視察することで、中国の過去から現代における文化を学ぶことができる。

これら孔子にまつわる中国文化の研修等を行うことで、日本と中国の市民レベルでの交流の活発化と相互理解を深めることを目的とする。

①実施時期：11月初旬～中旬

②実施地域：北京及び洛陽

③周知方法：市報、チラシ、ホームページ等で広報予定。

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要あることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図る。

①対象児童：小学校4・5・6年生

②募集方法：毎年4月に多久市内の対象者全員（約1,100人）に案内チラシを配布する。

③実施時期：毎月第2・第4土曜日の午前中

④実施内容

i ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60分8回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成する。

ii ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受け付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理する。

iii 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようサポートする。

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子ども達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる最も大きな原因の一つは、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる友達と一緒に生活をしながら、様々な体験を通して、我慢したり、譲りあったり、思いやりの心を学ぶ場として実施する。

- ① 実施時期：9月24日～27日（3泊4日）
- ② 実施場所：東原庠舎
- ③ 募集方法：多久市内の各小学校3年～5年生の全児童に案内チラシを配布し、周知する。
- ④ 参加費用：5,000円

(3) 中学校生徒会交流会事業

多久市内小中一貫校中学部生徒会役員が一堂に会し、各校の生徒会活動などの情報を交換し、グループワークや年間目標の作成などの活動を通して生徒会役員の資質の向上をはかる。

- ① 実施時期：12月中旬
- ② 実施場所：東原庠舎もしくは市内小中学校
- ③ 募集方法：多久市内の各学校の生徒会に募集をかける。

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

(1) 多久聖廟の維持管理事業

当業務は多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行うものである。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庠舎」の3施設を一體的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で釧菜などの伝統文化に触れ、東原庠舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することができる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことができるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一體的に体験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与する。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は、約300年の間に度々改修が行われている。多久聖廟展示館では、この改修の変遷や発掘された文化遺産などを展示している。また、釧菜で行われる伝統芸能の紹介、衣装の展示や、多久聖廟や釧菜に関する資料や過去の研究、衣装などを展示することにより、聖廟周辺の文化の振興に寄与する。

① 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示する。

② 釧菜に関する資料、装束等の展示

釀菜で行われる伝統芸能の資料や装束を展示する。

③ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行う。

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

当事業は、社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する事業を行うことにより、学芸文化等の研鑽振興を図る。

また、今年度は、東原庠舎を広く県内外の大学やゼミの学生に利用していただく為、東原庠舎のパンフレット等を配布し広報活動を行う。

4 図書製作販売事業

孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売することにより、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知する。

また、現在、通信販売サイトAmazon.comで販売している百人一首式論語カルタを全国に普及させるため、紹介動画の作成及び発信、読み手音源の作成、論語及び教育団体へのサンプル配布等を行う。

① 販売場所：孔子の里、観光協会、TUTAYA多久店、通信販売サイト

Amazon.com

② 書籍概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）2,500円、論語カルタ1,500円、論語日めくりこよみ700円、論語解説書500円、日本・中国・朝鮮の孔子廟500円、多久の詩情1,000円

5 新年のつどい開催事業

多久市民の有志等が一堂に会して、新年の抱負を語らい、お互いの親睦を図る。

- ① 対象：一般市民、市内、市外の企業等
- ② 募集方法：市報、新聞、ホームページ等を活用して周知予定。
- ③ 開催期日：平成27年1月5日（月）
- ④ 開催場所：松屋ホテル

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図る。

① 市民大学 ゆい工房

目的：様々な講座を開催し、多久市の生涯学習の発展に寄与することを目的としている。

- i 内容：岸川まんじゅう作り等18講座の予定
- ii 開催場所：東原庠舎や中央公民館など多久市内の施設
- iii 開催期間：6月～翌年3月

② 論語教室：毎月第1土曜、東原庠舎にて開催

③ ヨーガ教室：毎月第2・3・4の木曜日と土曜日に東原庠舎にて開催

④ 絵手紙似顔絵教室：毎月第2土曜、東原庠舎にて開催

⑤ 太極拳教室：毎週金曜日、東原庠舎にて開催